

外国特許トピックス

2015年3月

特許業務法人 志賀国際特許事務所
(外国事務部 原田雅史)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

PCT - 2014年のPCT出願件数統計

2014年のPCT出願件数の暫定統計が先日WIPOより公表されました。以下、公表数字に基づいて概況をご案内申し上げます。

1. 総出願件数

2014年のPCT出願の総出願件数は214,500件(暫定値)で、2013年(確定値205,272件)との比較で、件数で9,228件、率にして約4.5%の増加となりました。前年2013年は特に米国、中国が全体を牽引する形で数字を押し上げ、出願総件数がPCT開始以来初の20万件台に達しましたが、2014年の全体像もこの流れを踏襲したものとなっています。

2. 上位出願国(出願人居住国・上位15ヶ国)

	国名	2014年 出願件数	前年比 増減%	占有率		国名	2014年 出願件数	前年比 増減%	占有率
①	米国	61,492	+7.1%	28.6%	⑩	スウェーデン	3,925	-0.5%	1.8%
②	日本	42,459	-3.0%	19.7%	⑪	カナダ	3,089	+8.6%	1.4%
③	中国	25,539	+18.7%	11.9%	⑫	イタリア	3,061	+6.7%	1.4%
④	ドイツ	18,008	+0.5%	8.4%	⑬	フィンランド	1,815	-13.4%	0.8%
⑤	韓国	13,151	+6.2%	6.1%	⑭	オーストラリア	1,726	+7.6%	0.8%
⑥	フランス	8,319	+5.2%	3.9%	⑮	スペイン	1,705	±0%	0.8%
⑦	英国	5,282	+9.0%	2.5%		その他	16,596	+4.5%	8.0%
⑧	オランダ	4,218	+0.7%	2.0%					
⑨	スイス	4,115	-5.9%	1.9%		合計	214,500	+4.5%	

これまでは米国と日本でPCT出願件数のほぼ半分を占めると一口に言われておりましたが、近年の中国の台頭により「米国、日本、中国の3ヶ国で6割を占める」という表現がふさわしくなりました。2014年はフィンランド、スイス、日本、スウェーデンが前年を下回りましたが、これら以外の英国をはじめとするヨーロッパ諸国、韓国、オーストラリア等は総じて対前年増加率で約5~9%と良好に推移しています。前年2013年では中国、米国等4ヶ国が二桁%の増加でしたが2014年は中国1ヶ国のみでした。この増加率の高い中国と母数の大きい米国の二国の増加件数の合計は全体の増加件数の約88%に相当する8,076件(米国:4,051件、中国:4,025件)で、2013年と同様に2014年の牽引役を果たしました。一方の対前年減少組では、フィンランドが二桁%の減少で2年連続の減少で、2012年(2,312件)との比較では約500件の減少となっています。日本は対前年比で-3.0%(-1,312件)の減少でした。日本のPCT出願の出願件数の前年割れというのは特筆すべき事項で、WIPOの統計データが参照できる2000年以降では初めての事です。

3. 上位出願人

国際公開件数に基づく2014年の出願人別出願件数では、前年3位の中国のホアウェイが対前年1,332件の増加(対前年比+63.1%)を得て首位獲得となりました。また、ベスト10の順位、顔ぶれにも変化がありました。上位2位から10位までは次の通りです。②クアルコム(米国/2,409件/+351件)、③ZTE(中国/2,179件/対前年-130件)、④パナソニック(日本/1,682件/-1,157件)、⑤三菱電機(日本/1,593件/+280件)、⑥インテル(米国/1,539件/-332件)、⑦エリクソン(スウェーデン/1,512件/+44件)、⑧マイクロソフト(米国/1,460件/+652件)、⑨シーメンス(ドイツ/1,399件/+51件)、⑩フィリップス(オランダ/1,391件/-32件)。

以上